

**AGC**

# サラセーヌ<sup>®</sup>EZ

環境対応型 特化則非該当(特定化学物質 完全無配合)ウレタン防水材

環境対応型 特化則非該当(特定化学物質 完全無配合) ウレタン防水材

# サラセーヌEZ

## 環境、そして、安全への配慮

「サラセーヌEZ」は、労働安全衛生法 特定化学物質の対象となるMOCA【3.3'ジクロロ-4.4'ジアミノジフェニルメタン】やTDI【トリレンジイソシアネート】、その他の特定化学物質を一切含んでおりません。特定化学物質障害予防規則の取り扱いが不要なウレタン防水材【特化則非該当】です。

さらに、「厚生労働省が定める室内環境基準の対象13物質<sup>※1</sup>」、「学校環境衛生基準の対象6物質<sup>※2</sup>」も含んでおりません。有機溶剤中毒予防規則の取り扱いが不要な無溶剤タイプの環境対応型ウレタン防水材【有機則非該当】です。

また、鉛化合物も含んでおりません。

- 特定化学物質障害予防規則の対象となる特定化学物質「MOCA」
- 特定化学物質障害予防規則の対象となる特定化学物質「TDI」
- 特定化学物質障害予防規則の対象となるその他特定化学物質
- 厚生労働省が定める室内環境基準の対象13物質<sup>※1</sup>
- 学校環境衛生基準の対象6物質<sup>※2</sup>

↓  
全て無配合(0%)

サラセーヌ  
EZは

特定化学物質障害予防規則(特化則)に該当しません  
有機溶剤中毒予防規則(有機則)に該当しません

※1 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、フタル酸ジ-n-ブチル、テトラデカン、  
アセトアルデヒド、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、パラジクロロベンゼン、ダイアジノン、フェノブカルブ、クロルビリホス

※2 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン

## 施工性に優れた材料設計

ウレタン防水材の施工に欠かすことができないセルフレベリング性を保持したまま、タック(ベタつき)を軽減させました。

また、防水材色にブルーグレー色を採用したことにより、保護仕上材の塗り残しや塗り忘れなどを視認しやすくなりました。

### 荷姿

平場用

サラセーヌEZ



24kgセット(主剤8kg.硬化剤16kg)  
配合比1:2 硬化物密度1.3

立上り用

サラセーヌEZ 立上り用



24kgセット(主剤8kg.硬化剤16kg)  
配合比1:2 硬化物密度1.3

目止め用

サラセーヌEZ 目止め



24kgセット(主剤8kg.硬化剤16kg)  
配合比1:2 硬化物密度1.3

**AGC**

環境対応型 1 液ウレタン防水材

**サラセーヌ<sup>®</sup>SB**

**SARACENU**

## サラセーヌの新世代防水工事!!

### 作業工程

#### 2液防水材

### ネタ場の確保

- 攪拌と材料置場の確保が必要

狭いマンションの  
敷地でのスペースの  
確保が大変です。



#### 1液防水材 『サラセーヌSB』



### ここが違う!!

省スペース



1液タイプのため  
主剤・硬化剤の  
攪拌が不要。

省スペース

- 攪拌スペースがいりません!
- 材料置場は最小限に!

かんたん

- 配合いらず、混合いらずでマチガイ  
がありません!
- 下塗り補修材や超速硬化防水材の  
下塗りとして。

ささっと

- 缶を開けたらすぐに施工が出来ます!
- 攪拌(ネタ場)作業がなくなります!

きれい

- 表面乾燥が早く、汚れや虫が付き  
にくくなります!

## 側溝・巾木・小庇等の小面積がささっと施工出来ます!

### 搅拌作業

- 主剤・硬化剤の搅拌が必要  
硬化不良にならないよう3分程度の搅拌が必要です。



### 材料運搬

- 搅拌後に迅速な材料運搬が必要  
材料が硬化する前にネタ場から上階へすみやかに運搬しなければなりません。



防水施工

かんたん

ラクラク

ささっと

材料置き場から  
材料缶を施工場所に。



缶の天を切って  
塗るだけ。



ラクラク

- 1缶当たり平場用9kg立上り用5kgなので、楽に運べます!
- 暑い夏でも可使時間に余裕があります!

環境対応

- 特化則非該当です!
- トルエン、キシレン、エチルベンゼンなどを使用していません!

### 新商品

#### 平場用防水材 サラセーヌ SB

- ・JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)  
一般用認証製品
- ・色:グレー、硬化物密度1.3Mg/m<sup>3</sup>
- ・荷姿:9kg

#### 立上り用防水材 サラセーヌSB立上り用

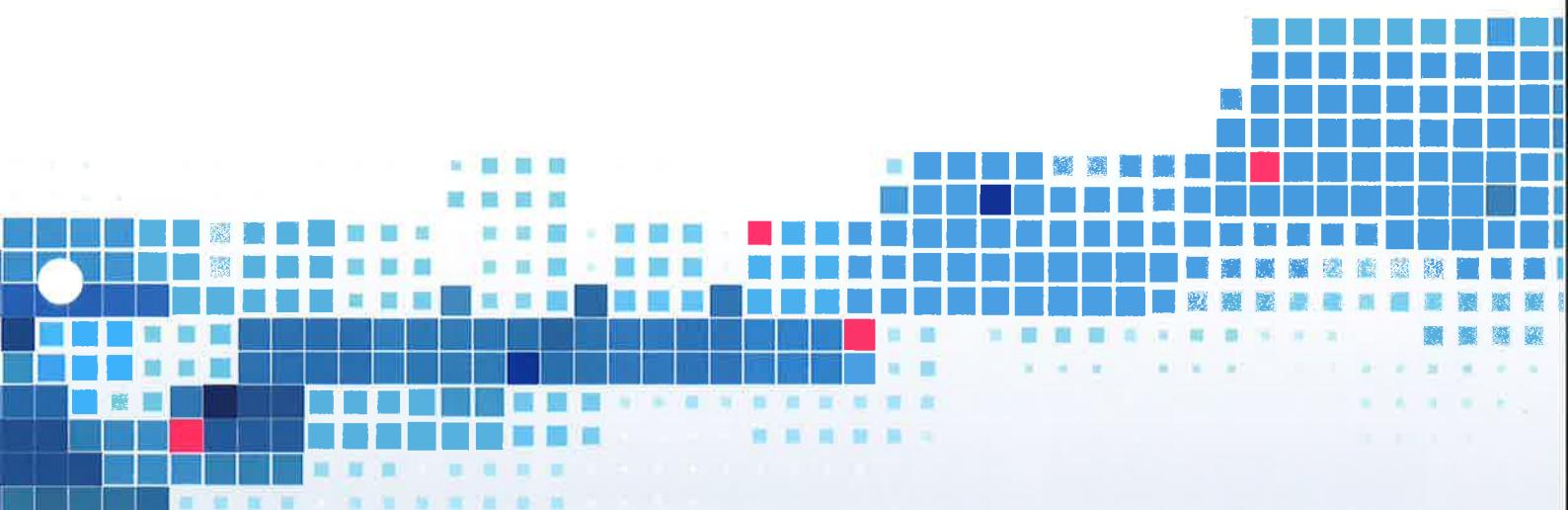
- ・JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)  
立上がり用認証製品
- ・色:グレー、硬化物密度1.4Mg/m<sup>3</sup>
- ・荷姿:5kg

\*専用希釈剤の希釈量は重量比で5%を上限としてご使用ください。\*発泡ペラ等で平滑に均してください。  
\*低温施工時は、重量比で3%を上限として、1液防水材専用硬化促進剤をご使用ください。\*施工時に色浮きが生じる場合がありますが、品質には問題ありません。

**AGC**

既存露出アスファルト防水改修工法

# サラセヌ<sup>®</sup> AS工法



SARACENU

# 既存露出アスファルト防水改修工法

サラセーヌAS工法は、既存の露出アスファルト防水層にウレタン塗膜防水を新たに積層することで、既存防水層の延命を実現する工法です。

既存の露出アスファルト防水層にフクレ(浮き)や破断など不具合の発生がなく、劣化状態が比較的軽度な場合に限り、適用が可能です。

## サラセーヌAS工法の適用基準

- ①設計図書にて、適切な下地処理と工法の選択がされていることを確認する。
- ②現地調査にて、既存防水層に著しい劣化がないこと、下地調整材の付着性が良好なことなどを確認する。
- ③注意事項(右ページ下)に反する現場には適用しない。

## 現場チェック方法

### 既存露出アスファルト防水層の確認

劣化度合いは？（別紙チェックシート参照）  
既存防水層に断熱材は入っているか？  
建物の躯体構造は？

### サラセーヌ AS 工法適用の可否(判定)

○：適用可能

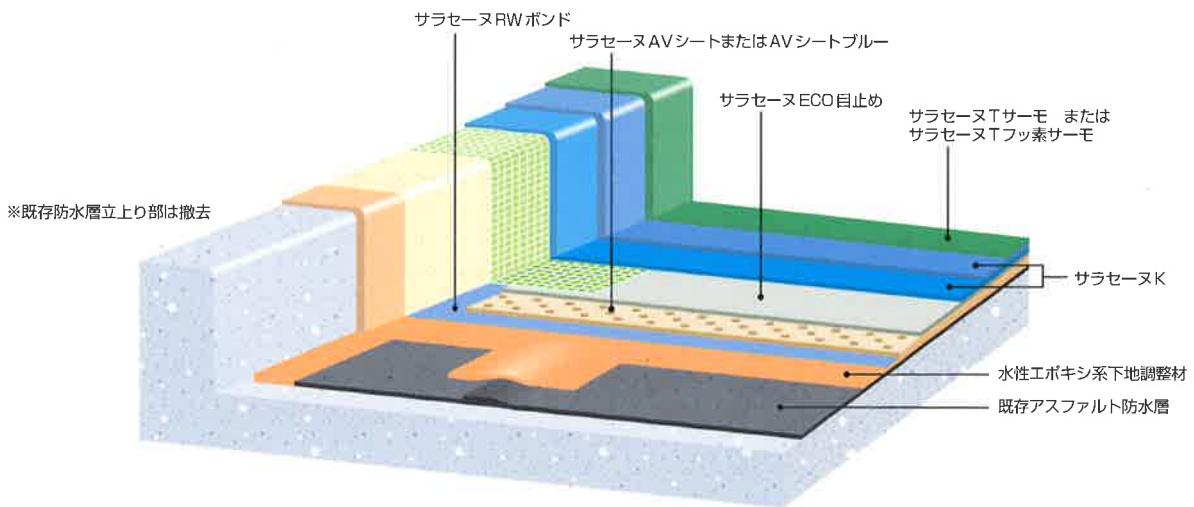
△：部分補修して適用可能

×：適用不可

### サラセーヌ AS 工法

サラセーヌ機械的固定  
AM工法

または、既存防水層を撤去し、  
適切な防水工法を選定  
(AV工法、AIM工法など)



### 既存露出アスファルト防水改修工法 サラセーヌAS工法

工法名	工程	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	備考
ASAV-KK50 Tサーモ ASAV-KK50 Tフッ素サーモ	1 水性エポキシ系下地調整材	1.6~2.0	平場仕様 防水層厚み平均2.5mm
	2 サラセーヌRWボンド サラセーヌAVシートまたはAVシートブルー サラセーヌECO目止め	0.25 — 1.2	
	3 サラセーヌK	1.2	
	4 サラセーヌK	1.2	
	5 サラセーヌTサーモ または サラセーヌTフッ素サーモ	0.2 0.15	
ASSD-立上り20 Tサーモ ASSD-立上り20 Tフッ素サーモ	1 水性エポキシ系下地調整材	0.8~1.5	立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2 PW-100プライマー	0.25	
	3 サラセーヌ立上り用 補強用クロス	0.8 —	
	4 サラセーヌ立上り用	1.1	
	5 サラセーヌ立上り用	0.7	
	6 サラセーヌTサーモ または サラセーヌTフッ素サーモ	0.2 0.15	

※アスファルト成分のブリード防止のため、必ず水性ボンド「サラセーヌRWボンド」および無溶剤タイプ目止め防水材「サラセーヌECO目止め」をご使用ください。

#### 注意事項

- 既存アスファルト防水層の立上り部は、原則として防水層、固定金具とともに完全に撤去してください。
- 既存アスファルト防水層は、施工後の経年数や使用状況、環境条件などによって、劣化の度合いが大きく異なります。
- サラセーヌAS工法は、遮熱仕上げを原則としています。保護仕上材の中から適した遮熱用保護仕上材を選定してください。詳細は、サラセーヌ防水総合カタログをご覧ください。
- 既存アスファルトルーフィングの砂目や段差は、水性エポキシ系下地調整材を用いて、隙間なく平滑に仕上げてください。
- 既存アスファルト防水材の劣化部は是正処置により、別紙「チェックシート」の判定基準を満たしてください。
- 既存アスファルト防水層のジョイント部などの不陸により、凹凸が目立つ場合があります。予めご了承ください。
- また、ウレタン塗膜防水施工後に水たまりが発生する場合があります。下地処理の段階で是正を行ってください。ただし、水たまりは完全には解消できませんので、予めご了承ください。
- 既存ルーフドレンや排水口の周囲が、著しく水はけのわるい場合は、既存防水層を部分的にハツリ撤去することや新設するサラセーヌAS工法の納まりを検討するなど関係者各位で協議してください。
- 既存アスファルトルーフィングのジョイント部分や重ね張り部分の段差(凸部)では、ウレタン塗膜の厚みが薄くなりやすいため、必要に応じて、ウレタン防水材の塗布回数を増やしたり補強用クロスを用いるなどウレタン塗膜の厚みが確保できる処置をしてください。
- 既存アスファルトルーフィングの状態によっては、新設したウレタン防水層の表面にブリード現象(変色、汚れやすい)などが生じるおそれがあります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

**AGC**

既存塩ビシート防水改修工法

**サラセヌ<sup>®</sup> ES工法**



**SARACENU**

# 既存塩ビシート防水改修工法

サラセーヌES工法は、既存の塩ビシート防水層にウレタン塗膜防水を新たに積層することで、既存防水層の延命を実現する工法です。既存の塩ビシート防水層にフクレ(浮き)や破断など不具合の発生がなく、劣化状態が比較的軽度な場合に限り、適用が可能です。

## サラセーヌES工法の適用基準

- ①設計図書にて、適切な下地処理と工法の選択がされていることを確認する。
- ②現地調査にて、既存防水層に著しい劣化がないこと、層間プライマーの付着性が良好なことなどを確認する。
- ③注意事項(右ページ下)に反する現場には適用しない。

## 現場チェック方法

### 既存塩ビシート防水層の確認

劣化度合いは？（別紙チェックシート参照）  
既存防水層に断熱材は入っているか？  
建物の躯体構造は？

### サラセーヌES工法適用の可否(判定)

○：適用可能

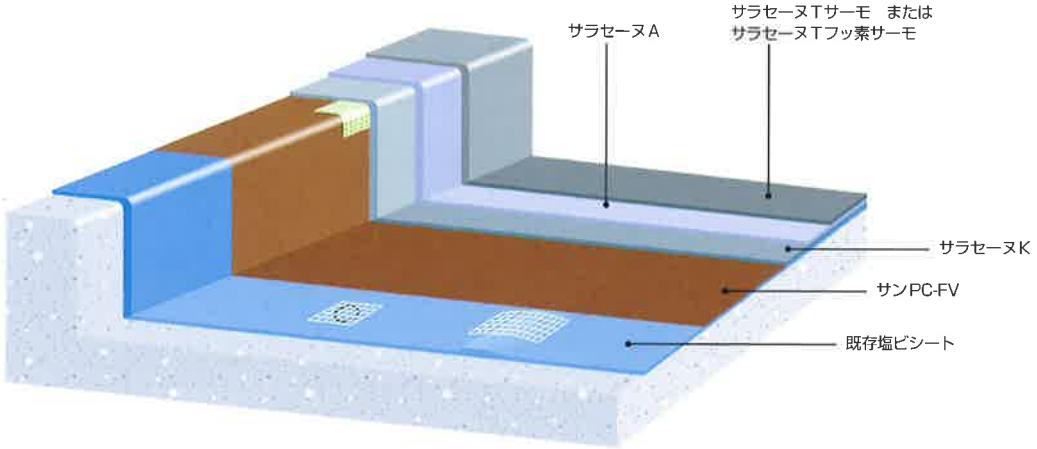
△：部分補修して適用可能

×：適用不可

### サラセーヌES工法

### サラセーヌ機械的固定 AM工法

または、既存防水層を撤去し、  
適切な防水工法を選定  
(AV工法、AIM工法など)



## 既存塩ビシート防水改修工法 サラセーヌES工法

工法名	工程	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	備考
ESSD-AK25 Tサーモ ESSD-AK25 Tフッ素サーモ	1 サンPC-FV	0.1~0.15	平場仕様 防水層厚み平均2.5mm
	2 サラセーヌK	1.7	
	3 サラセーヌA	1.5	
	4 サラセーヌTサーモ または サラセーヌTフッ素サーモ	0.2 0.15	
ESSD-A立上り20 Tサーモ ESSD-A立上り20 Tフッ素サーモ	1 サンPC-FV	0.1~0.15	立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌ立上り用	1.3	
	3 サラセーヌA立上り用	1.2	
	4 サラセーヌTサーモ または サラセーヌTフッ素サーモ	0.2 0.15	

※厚みが付きにくい出隅などは、クロステープ#100などを用いて厚みの確保を行ってください。

### 注意事項

- 既存塩ビシート防水層立上り部の付着性や端部の納まりが悪い場合は、立上り部は撤去してください。撤去部下地コンクリートは平滑に調整し、シート切断端部はフラットバーなどを用いて固定してください。
- 既存塩ビシート防水層は、施工後の経過年数や使用状況、環境条件などによって、劣化の度合いが大きく異なります。
- サラセーヌES工法は、遮熱仕上げを原則としています。保護仕上材より適した遮熱用保護仕上材を選定してください。詳細は、サラセーヌ防水総合カタログをご覧ください。
- 事前にプライマー「サンPC-FV」の付着性を確認してください。
- 既存塩ビシート防水材の劣化部は正処置により、別紙「チェックシート」の判定基準を満たしてください。
- 既存防水層のジョイント部などの不陸により、凹凸が目立つ場合があります。予めご了承ください。  
また、ウレタン塗膜防水施工後に水たまりが発生する場合があります。下地処理の段階では正を行ってください。
- プライマーの接着性を阻害させる粉塵、油脂類、鉄錆などは事前に必ず除去してください。
- 塩ビシートの機械的固定工法で、シートの固定状況に不良がある場合は適用できません。
- 既存ルーフドレンや排水口の周囲が、著しく水はけのわるい場合は、既存塩ビシート防水層を部分的にハツリ撤去することや新設するウレタン防水層の納まりを検討するなど関係者各位で協議してください。
- 塩ビシートのジョイント部分や重ね張り部分の段差(凸部)では、ウレタン塗膜の厚みが薄くなりやすいため、必要に応じて、ウレタン防水材の塗布回数を増やしたり補強用クロスを用いるなどウレタン塗膜の厚みが確保できる処置をしてください。
- 既存塩ビシートの状態によっては、新設したウレタン防水層の表面にブリード現象(変色、汚れやすい)などが生じるおそれがあります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。